計画見直し・策定に向けたヒアリング（介護サービスに係る外部団体）について

１　実施概要

石狩市グループホーム連絡会　（GH）
　２回（令和２年２月 18 日、令和２年９月１日）
手をつなぐ訪問看護ＥＴＩ（江別・当別・石狩訪問看護事業所連絡会）（ETI）
　１回（令和２年８月 27 日）
石狩市介護支援専門員連絡会
　１回（令和２年８月 31 日）

２　主な意見等

（地域包括支援センターについて）

・まずは総合相談となるので、包括業務が多忙なのは理解できる。
・ケアプランの件数が多いことについては、再委託を増やすことも考えられる。
・増設の方向性は必要と思っている。

（認知症について）

・ひきこもりも含めて、認知症であることを行政や事業所、地域が把握できない人が多いと感じており、認知症潜在的予備軍というか、このような人が実際、確実に増えていると感じている。
・その人が認知症かどうかわからない人が多い。認知症初期にそういった人を把握するには、家族や地域との繋がりの中での理解や周知が大事。

（介護に関わる施設やサービスについて）

・現状認識としては、極端にニーズと合わないとの認識はないが、サービス付き高齢者住宅（サ高住）が建設されると、認知症グループホーム（GH）の利用者がそちらへ一気に流れることが想定され、そうなると事業所としては困る面や介護の質も心配である。
・今、切羽詰まっている入居待ちの人はいない。待機で順番が来ても、もう少し在宅でいますとか、そういう人もいる。
・サ高住があることもあるが、今はＧＨは充分ではないかと感じている。ただ、サ高住ではＧＨのようないいケアは出来ない。
・訪問介護、訪問看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の増設方向は考えられる。大きな病院がバックにないと人材含め経営が難しい面がある。
・サ高住は石狩市にも結構ある。もういらないと思っている。
・サ高住より、GH の必要性を感じる。ただ、やはり質による。低所得者の受け入れや、医療的対応、看取りまで含めてやれるＧＨであったほうがよい。低所得者層の受け入れ先が

少なく、家族が大変なケースがある。
・理想像として、低所得者層が最期を迎えるにあたり、医療対応、緩和ケア、看取りまでできるような小さな施設があってもいい。
・市内の遠いショートステイなら、札幌のショートステイを選ぶ人もいる。
・施設系では、なんとか入所先は見つかる。ＧＨ待機している中で、順番をゆずる方がいたり、ＧＨ入る前に入院する人もいる。今のところは間に合っている印象がある。

（介護人材について）
・課題はやはり、人手、人材不足につきると感じている。また、百均の店員よりも時給が安い。処遇改善には加算ではなく本体報酬の改善が望まれる。
・ＧＨの質、理想を優先したいのだが、人手不足で、誰でもとりあえず来て下さい、という状態。これでは入居者へのサービスの質が低下してしまうが、致し方ない面もある。
・事務的なものの負担感も大きく、特定処遇改善も大変。本来の介護にも支障が出る。
・現時点で、経営相互補完的な事業体はない。人材バンク的なものはない。
・小規模の事業所では、人材の育成も将来を見越して中長期スパンで行っているが、キーの人が倒れたりやめてしまったりすると途端に機能不全となる。
・介護人材確保について、行政と現場の者がともに考える場が必要。補助金的なものも必要と思う。
・事業所内の人材不足で訪問介護サービスを受けられないこともある。また、男性が男性に入浴介助して欲しい時などもあり、男性ヘルパーが少ない。

・ケアマネの質向上が必要。
・訪問看護について、全体の２割程の医療系のケアマネは医療的発想を持っているので、訪問看護に依頼する選択肢を持っていることが多いが、全体の８割程の福祉系のケアマネはその発想が弱く、訪問看護のメリットが理解されていないかもしれない。

・元気高齢者の活用は、時間、パーツを分けて人員基準をうまくクリアし、上手くマッチングが行われれば、とてもいい。

・医療介護サービスや職種間で、相互理解が進んでいない面もある。
・市内の訪問看護事業所で集まっており、顔の見える連携が進むことで、事業所同士でやりくりができるようになり、相互に負担を軽減している。
・「いしまち」は、将来的には人材融通等の取組はやりやすいのだろうが、まだそういう段階ではない。
・「いしまち」と行政が連携し、介護人材の分野の施策を検討するのは、とても良い。
・現状として、本市の規模からも、医療も含めた顔の見える連携が重要と思う。

・顔の見える連携をゆっくり広げながら、ケアの質的向上を図り、働き、暮らしやすい業界体質をつくることも人材確保に必要。
・コロナで、パートの人が辞めたり、デイ利用者が減少したり、介護自体や、介護で働くイメージダウンがすごい。今後イメージアップもしてほしい。

（在宅生活を支えるサービスについて）
・配食サービス（食の自立支援）は、近隣市と比べると選択肢が少ない。土日も使いたいが使えない。これらの選択肢が多ければ、例えば、配食でカバーして、ヘルパーがいらなくなる利用者もいる。
・安心安全に係る緊急通報が充実すればいい。独居、認知症が少しづつだが増えている印象がある。身寄りのない人もいて、ケアマネにも連絡が入るし、包括と一緒にケアマネも動くこともあるし、本来業務ではないのにケアマネが病院に連れていくこともある。
・地域のサロンなどの資源も多様に充実して欲しい。

（その他）
・連絡会や運営会議に出てきたり、石狩はコンパクトで行政と事業所の距離感がいい。近隣市はほぼ出てこない。こういった関係性はぜひ続けて欲しい。
・近隣市でやっているような、集団指導を行って欲しい。
・市への質問と回答といった流れをＱＡ集とか、市として示してもらえれば助かる。